



第16号  
発行所  
近畿大学農学部緑友会  
広報・編集委員会  
631-8505 奈良市中町3327-204  
TEL: 0742 (43) 1511  
http://www.nara.kindai.ac.jp/

「緑友会会長挨拶、  
ご挨拶申し上げます」

緑友会会長  
高谷 政広



卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素より農学部緑友会に格別なご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。お陰さまで農学部は、平成元年4月に東大阪長瀬本部キャンパスから緑豊かな奈良キャンパスに移り23年目になりましたが、この間、学科増設、学部組織の改組・再編等の改革、農学部創立50周年、新教室棟増設とキャンパス中庭の緑友会ホール時計設置、第2共同研究棟新設等を経て教育・研究に発展を遂げました。また、緑友会の活動運営も会員皆様の温かいご協力とご援助のおかげで順調に行われてきたことを厚くお礼申し上げます。

このたび前会長の村上哲男先生に代わり、大役を仰せつかりましたが、自分なりに一生懸命一杯、緑友会の皆様のお役に立てるように努力いたしますので、今後ともどうかよろしくご指導とご鞭撻の



程をお願い申し上げます。さて、世の中の状況は、リーマン・ショック後混沌としてきており、先の東北大地震や原発事故による災害、台風による被害等大変な状態にあり、未長い支援が必要となっております。また、環太平洋パートナーシップ協定(T

PP)問題もありますが、今世紀は「生物材料の時代」と言われていますように、天然資源、環境、エネルギーの面で農学部が目玉が集まっています。

このような中で、緑友会は、卒業生と在籍生が交流し、社会に貢献できる卒業生を沢山輩出できるパイプ役となる役割を担っております。より一層のご支援、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、卒業生の皆様の益々のご活躍とご発展をお祈りいたします。

ご挨拶

農学部長

宇都宮 直樹



農学部緑友会の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、皆様方には平素から農学部への多大のご支援、ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

今年、東日本大震災や台風による被害などの大規模な災害が起きました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。社会全体もいまだ沈滞気味に推移しております、このような状態からの早

期の脱却を願うばかりです。さて、農学部におきましては、本年4月に第2共同研究棟が完成し、若い先生方による新たな研究分野の開発やこれまで以上の研究活動が期待されています。また、昨年度からは教室棟の屋根や外壁の改修、教室内の改修、トイレの整備など教育研究の環境の整備に力を入れております。うれしいことに最近では各地の高校から見学訪問に来る件数も増えており、農学部への関心が高いことが伺われます。今後も、教育内容を一層充実させ、農学部としての輝きを放ち続けたいと思っておりますのでよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。最後に、皆様方のご健康とご多幸をお祈りして挨拶とさせていただきます。



第2共同研究棟

学科の近況

農業生産科学科

学科長  
矢野 栄二



農学部緑友会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。この10月で農業生産科学科の学科長を拝命しまして丸一年になりました。今後ともご指導、ご助言よろしくお願ひ申し上げます。

まず先生方の昇任につきましてご報告させていただきます。この4月に昆虫生態制御学研究室の香取郁夫先生が准教授に昇任されました。ご専門の送粉昆虫の行動や利用の分野における益々のご活躍が期待されます。また今年度から農業生産科学科は、教育の三本柱として、「生物多様性の保全と利用に配慮した安全・安心な環境保全型農業」、「花など生物のいやし機能の利用」、「今後の農業を進展させるためのアグリビジネスへの展開」をかかげて、カリキュラムの改善、拡充に取り組んでいます。特に「園芸療法士」および「アグリビジネススマイスター」の資格取得のためのコースを新たに設け、教育内容の一層の充実を目指します。卒業生の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

水産学科

学科長

塚正 泰之



卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び

申し上げます。まず、教員の動向についてご紹介します。平成23年3月、水産利用学研究室の教授として本学科の教育・研究にご尽力いただいた川崎賢一先生が定年退職されました。その後任として採用されたのは、伊藤智広先生です。30歳代の気鋭の研究者で、水産廃棄物などに含まれる生体調節機能成分を研究されています。同研究室の安藤正史教授が4月から来年3月までロンドン郊外にあるキングス

トン大学に留学されています。本学科は、昨年、JABEE(日本技術者教育認定機構)の中間審査を受け、2014年卒業生までの認定を得ました。水産学科の入学希望者は毎年増加傾向にあり、入試の難易度も高まっています。これは本学科が最先端の研究をしながら、教育内容の改善にも積極的に取り組んできた成果であると自負しております。今後とも、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





今年度の管理栄養士国家試験の合格率は100%でありました。また、奈良県内4大学の学生らでつく「ヘルスチーム菜良」に参加し、共同開発した弁当をコンビニエンスストアで発売するなどの活動を行い、

卒業生の皆様元気に活躍されているでしょうか。環境管理学科が誕生して今年で7年目になります。昨年の4月に2期生が、今年の4月に3期生が社会に出られ、それぞれ分野で頑張っておられることと思っております。環境管理学科は、現代GPの里山修復事業は終了しましたが、引き続き生態学的並びに科学的な見地で里山等を保全することをコンセプトに捉え、日々発展を続けております。里山学連続講座の継続的な開催もその活動の一環です。また、日本だけでなく海外にも広く視野を向けず、海外にも広く視野を向けず活動も展開しております。学生に対する海外研修もその活動の一つです。今年の海外研修は、8月30日から9名の学生(2

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年、東北地方太平洋沖地震や9月の台風12号による暴風大雨によって、想像を絶する大きな被害となり、大変心痛ましく、心底、心苦しくなる思いでいっぱいですが、これからの生活を考えるとき、何とかして被害にあわれた方々が、一刻も早く、いつもの平穏な日常生活に戻れるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、未永く援助することが肝心です。本学科は、若いOBの先生方が他学科にくらべ多くおられる分、活気に満ちており、在学生の皆様と行動を共にして、ぐんぐんと成長、発展するチャンスに恵まれていますので、多いに期待していただきたいと思います。お忙しいですが、時には研究室を訪れ、後輩を激励してあげてください。私達も学科一丸となって、自分たちの生活をもっと豊かにし、グローバルスタンダードを持ちつつ社会に貢献することに喜びを見出す卒業生の方たちを一人でも多く輩出できるように、一生懸命、教育・研究に誠意を尽くしたいと存じます。

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年、東北地方太平洋沖地震や9月の台風12号による暴風大雨によって、想像を絶する大きな被害となり、大変心痛ましく、心底、心苦しくなる思いでいっぱいですが、これからの生活を考えるとき、何とかして被害にあわれた方々が、一刻も早く、いつもの平穏な日常生活に戻れるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、未永く援助することが肝心です。本学科は、若いOBの先生方が他学科にくらべ多くおられる分、活気に満ちており、在学生の皆様と行動を共にして、ぐんぐんと成長、発展するチャンスに恵まれていますので、多いに期待していただきたいと思います。お忙しいですが、時には研究室を訪れ、後輩を激励してあげてください。私達も学科一丸となって、自分たちの生活をもっと豊かにし、グローバルスタンダードを持ちつつ社会に貢献することに喜びを見出す卒業生の方たちを一人でも多く輩出できるように、一生懸命、教育・研究に誠意を尽くしたいと存じます。



高谷 政広 学科長

第1回 緑友会賞受賞者一覧		
専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	アウスク ベトラス	Tolerance to low nutrient soil stress of <i>O. glaberrima</i> , <i>O. sativa</i> and its interspecific progenies including NERICA
	秦 徳 勲	韓国京畿道農業活性化のための農産物直接取引方策 - 日本大阪府下農産物直売所事例の応用可能性 -
水産学専攻	大 西 宏 幸	リアルタイムPCR法を用いた海産白点虫 <i>Cryptocaryon irritans</i> 検出系の確立
	堤 吉 輝	クロマグロ仔稚魚の光波長制御に関する研究
応用生命化学専攻	青 山 晋 也	高血圧モデル動物の糖代謝異常に対する運動の影響
	田 中 景 子	破骨細胞RAW264.7の分化情報伝達系に対するプエラリンとダイゼインの作用に関する研究
	竹 本 慎太郎	イオン液体を反応溶媒として用いたカフェインおよびカフェオイルキナ酸誘導体の酵素合成
環境管理学専攻	藤 井 洋 太	日本における外来性ドジョウの侵入・拡散実態の解明
	久 光 彩 子	近畿大学奈良キャンパスにおける里山管理とチョウ類群集
バイオサイエンス専攻	森 達 也	Functional analysis of alternative splicing mechanisms regulated by high-light responsible Arabidopsis SR proteins (強光応答性SRタンパク質による選択的スプライシング制御機構)
	水 原 麻美子	Family GH-18キチナーゼの部位特異的変異による機能改変
	市 川 照	ウッドプラスチック(混練型WPC)の開発研究

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝で活躍されておられることとお慶び申し上げます。 応用生命化学科では、本年3月に駒井功一郎先生と榎章郎先生という、長年にわたり農学部発展に貢献された先生が退職されました。本学科にとっては大きな痛手ではありますが、本年4月に講師として財満信宏先生と、助教として福田泰久先生を迎え、新たな体制を築きました。 ご存じのように、未曾有の東日本震災により無数の命が失われるとともに、原発の破壊により放射能汚染が拡散し、我が国は苦境に立たされております。しかし日本人固有の規律、忍耐、努力によっ

卒業生の皆さまにおかれましては、ご健勝で活躍されていることと存じます。さて、本学科では長年にわたり給食経営管理学科の教授をしておられました杉本温美先生が定年で退職なされ、後任として富田圭子先生が着任されました。食卓の色彩やフードコーディネーターに関する御研究が中心の新進気鋭の先生です。 今年度の管理栄養士国家試験の合格率は100%でありました。また、奈良県内4大学の学生らでつく「ヘルスチーム菜良」に参加し、共同開発した弁当をコンビニエンスストアで発売するなどの活動を行い、

卒業生の皆様元気に活躍されているでしょうか。環境管理学科が誕生して今年で7年目になります。昨年の4月に2期生が、今年の4月に3期生が社会に出られ、それぞれ分野で頑張っておられることと思っております。環境管理学科は、現代GPの里山修復事業は終了しましたが、引き続き生態学的並びに科学的な見地で里山等を保全することをコンセプトに捉え、日々発展を続けております。里山学連続講座の継続的な開催もその活動の一環です。また、日本だけでなく海外にも広く視野を向けず、海外にも広く視野を向けず活動も展開しております。学生に対する海外研修もその活動の一つです。今年の海外研修は、8月30日から9名の学生(2

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年、東北地方太平洋沖地震や9月の台風12号による暴風大雨によって、想像を絶する大きな被害となり、大変心痛ましく、心底、心苦しくなる思いでいっぱいですが、これからの生活を考えるとき、何とかして被害にあわれた方々が、一刻も早く、いつもの平穏な日常生活に戻れるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、未永く援助することが肝心です。本学科は、若いOBの先生方が他学科にくらべ多くおられる分、活気に満ちており、在学生の皆様と行動を共にして、ぐんぐんと成長、発展するチャンスに恵まれていますので、多いに期待していただきたいと思います。お忙しいですが、時には研究室を訪れ、後輩を激励してあげてください。私達も学科一丸となって、自分たちの生活をもっと豊かにし、グローバルスタンダードを持ちつつ社会に貢献することに喜びを見出す卒業生の方たちを一人でも多く輩出できるように、一生懸命、教育・研究に誠意を尽くしたいと存じます。

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年、東北地方太平洋沖地震や9月の台風12号による暴風大雨によって、想像を絶する大きな被害となり、大変心痛ましく、心底、心苦しくなる思いでいっぱいですが、これからの生活を考えるとき、何とかして被害にあわれた方々が、一刻も早く、いつもの平穏な日常生活に戻れるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、未永く援助することが肝心です。本学科は、若いOBの先生方が他学科にくらべ多くおられる分、活気に満ちており、在学生の皆様と行動を共にして、ぐんぐんと成長、発展するチャンスに恵まれていますので、多いに期待していただきたいと思います。お忙しいですが、時には研究室を訪れ、後輩を激励してあげてください。私達も学科一丸となって、自分たちの生活をもっと豊かにし、グローバルスタンダードを持ちつつ社会に貢献することに喜びを見出す卒業生の方たちを一人でも多く輩出できるように、一生懸命、教育・研究に誠意を尽くしたいと存じます。



坂上 吉一 学科長



松田 一彦 学科長

我が国は必ず立ち直ると信じております。本学科の教員は、忘れられつつある日本人の美しい姿を学生に伝え、我が国の復興・発展に寄与するよう教育する所存です。卒業生の皆様、これから社会に羽ばたかんとする学生に手を差し伸べ、農学部の発展のためご支援いただきますようお願い申し上げます。 食品栄養学科 学科長 渡辺 克美

この3月には東日本大震災が起り、原発事故、そして9月には台風による記録的な豪雨と日本は経験したことがないような状況下、変革の時期を迎えているかにも思われます。教員一同一丸となって次の時代を担う人材を引き続き育成していきたいと思っております。最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を祈念し、学科の近況報告とさせていただきます。

卒業生の皆様元気に活躍されているでしょうか。環境管理学科が誕生して今年で7年目になります。昨年の4月に2期生が、今年の4月に3期生が社会に出られ、それぞれ分野で頑張っておられることと思っております。環境管理学科は、現代GPの里山修復事業は終了しましたが、引き続き生態学的並びに科学的な見地で里山等を保全することをコンセプトに捉え、日々発展を続けております。里山学連続講座の継続的な開催もその活動の一環です。また、日本だけでなく海外にも広く視野を向けず、海外にも広く視野を向けず活動も展開しております。学生に対する海外研修もその活動の一つです。今年の海外研修は、8月30日から9名の学生(2

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年、東北地方太平洋沖地震や9月の台風12号による暴風大雨によって、想像を絶する大きな被害となり、大変心痛ましく、心底、心苦しくなる思いでいっぱいですが、これからの生活を考えるとき、何とかして被害にあわれた方々が、一刻も早く、いつもの平穏な日常生活に戻れるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、未永く援助することが肝心です。本学科は、若いOBの先生方が他学科にくらべ多くおられる分、活気に満ちており、在学生の皆様と行動を共にして、ぐんぐんと成長、発展するチャンスに恵まれていますので、多いに期待していただきたいと思います。お忙しいですが、時には研究室を訪れ、後輩を激励してあげてください。私達も学科一丸となって、自分たちの生活をもっと豊かにし、グローバルスタンダードを持ちつつ社会に貢献することに喜びを見出す卒業生の方たちを一人でも多く輩出できるように、一生懸命、教育・研究に誠意を尽くしたいと存じます。



大学院農学研究科は1985年に2専攻で発足して25年、4半世紀が過ぎ、現在では農業生産科学、水産学、応用生命化学、環境管理学、バイオサイエンスの5専攻、約180人の博士前期、34名の博士後期の院生を抱え、4回生の33人に一人が進学している事になります。ポストドクターを加えると230人を超える院生・研究員からなる一大アカデミック集団となっています。 近年の大学院生の減少する中、研究室当たりの院生の数と研究指導に、努力と研鑽を積み重ねております。

これから農学研究科に求められるのは、数だけでなく質的にどこにも負けない創造性と国際性に富んだ若手研究者の養成と革新的真理の確立や、真の科学技術の創造に繋がる研究成果である。この事は、いかに知的好奇心と研究意欲にとんだ若い大学院生が育つにかかっている。 この目標の強力な推進力となるべく、昨年度(23年3月)本会から大学院博士前期課程院生2年を対象とする緑友会賞(各専攻の優れた修士論文発表に賞状と副賞)の表彰制度が設置された。左表に第1回受賞者を示した。 このような中、農学研究科大学院担当教員は、高い教育研究理念を持って院生の教育と研究指導に、努力と研鑽を積み重ねております。

農学部緑友会会員の皆様には、日頃のご活躍とますますのご発展をお慶び申し上げます。また平素は、近畿大学農学部の発展に多大なるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。平成元年に農学部が、奈良キャンパスに移転し、23年を迎えようとしております。その間、学科・研究科の組み換え編成等を行い、教育の推進に邁進してまいりました。又、施設の充実を図ること

も毎年行っており、今年度は、上げます。 さらなるご支援とご鞭撻を賜ることを願っております。



河村 幸雄 大学院農学研究科長



事務長 佐野 真紀恵

### 創造性のある大学院農学研究科へ

### 農学部の近況

第2共同研究棟の建設・図書館の増席、LED照明の導入による館内照度の上昇、アンダーカーペットの敷設などを行い、より一層の学習・研究環境の充実を図っております。 入試関係につきましては、

平成23年度の入試結果は、前年度に比べ受験者数の増加という、より一層の学力の向上が認められる結果となりました。 秋には、恒例の農学部祭が行われます。緑友会の皆様には足をお運びいただき、しばしの学生時代を思い出していただければ幸いです。最後に、緑友会会員の皆様のご活躍とご健康をお祈りし、今後ともご協力、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

### 新任の挨拶

水産学科 水産利用学研究室  
講師 伊藤 智広

機能分野に貢献できればと考えております。不慣れな部分が多々ございますが、皆様のご指導・鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

本年4月に水産学水産利用学研究室に着任いたしました伊藤智広と申します。これまで民間食品会社(井村屋製菓株式会社)、県外郭団体研究所(岐阜県国際バイオ研究所)で研究員として各種食品成分の生体機能評価を細胞及び動物レベルで研究を進めてまいりました。その傍ら、岐阜大学、岐阜薬科大学の大学院生、岐阜県衛生専門学校での指導を行い、現在に至っております。現在の研究は、食品成分機能の新しい評価法としてMicroRNAの変動を利用した評価法の確立を検討しています。

応用生命化学科 食品微生物工学研究室  
助教 福田 泰久

ごさいます。研究者としてまだまだ経験も浅く、ご迷惑をお掛けすることが多くありますが、農学部教職員の皆様、緑友会会員の皆様、ご指導・鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

本年4月1日より応用生命化学科・食品微生物工学研究室に助教として赴任いたしました福田泰久と申します。富山県立大学工学部で博士(工学)の学位を取得後、同大学工学部・酵素化学工学研究室に嘱託研究員として所属しておりました。これまでに、微生物および植物由来の酵素を用いた有用物質の生産を目的として、新規反応を行う酵素の探索、分離、酵素化学的諸性質の解明、遺伝子クローニング、異種遺伝子発現などを行ってきました。近畿大学では、日本でも有数の「きのこ」の研究室に赴任させていただくことになりました。多くの可能性を秘めた第4の微生物といわれる「きのこ」の未知なる生体現象の解明、および社会での応用方法を求め、研究に邁進していく所存でございます。

応用生命化学科 応用細胞生物学研究室  
講師 財満 信宏

本年四月から応用生命化学科・応用細胞生物学研究室に講師として赴任いたしました財満(ざいま) 信宏と申します。京都大学卒業後、京都大学大学院で博士(農学)の学位取得後、三菱化学生命科学研究センター・特任助教を経て、現職に就いております。

食品栄養学科 給食経営管理学科  
准教授 富田 圭子

本年4月より食品栄養学科給食経営管理学科に着任させていただきます富田圭子と申します。管理栄養士認定校として、食のプロを育てるために、最善の努力を尽くしてまいりたいと考えております。私の専門は、給食経営管理、食育、食卓における色彩心理およびフードコーディネーターです。「おいしく楽しく食べる」をキーワードにしながら食環境に焦点を当て、人間関係、食文化やマナー、パッケージなどが喫食者・消費者の心理にどのような影響を与えているのかについて研究をおこなっております。本年度は、保育園児、大学生を対象にした食育研究のほか、高齢者や視覚障害者の方々に對する快適な食卓環境等についても研究を行い、「一生を通して、より「おいしく楽しく」食べられる一助となればと考

環境管理学科 国際開発・環境学研究室  
講師 河内 香織

今年4月から講師として着任いたしました、環境管理学科国際開発・環境学研究室の河内香織と申します。これまでに、北海道や埼玉にて流域の物質循環に関する研究を行ってきました。たとえば、森林で生産された落葉は土壌で分解され森林生態系を循環するとともに、一部は河川水とともに下流に運ばれ、河川生態系や沿岸生態系に取り込まれ様々な生物に利用されます。自然環境に恵まれた近畿大学農学部にてこれまでの研究を新たに展開し、地球環境の改善に貢献したいと考えております。近畿大学では、学生達と積極的に外に出て、自分の目で見る・触れることを大切にしながら、恵まれたフィールドを生かした教育活動を行いたいと考えております。知識だけでなく、人間性も兼ね備えた社会に貢献できる人材の育成を目指します。皆様のご指導・鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

前水産学教科教授  
川崎 賢一

退任のご挨拶  
緑友会会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

前学部長  
前応用生命化学科教授  
駒井 功一郎

退任のご挨拶  
1982年4月に近畿大学農学部農芸化学科に赴任して以来、29年間の勤務を経て、本年3月末日に退職するまで、特に健康に留意した訳でもないので、1日たりとも、けがや病気で勤務を休んだことはありませんでした。これは運がよかったです。大学で学生と研究、勉強、遊び等で交流することが楽しかったからだと思います。29年間、好きな勉強、研究、教育が存分にできたことを幸であったと思っております。お世話になった近畿大学には感謝の念で一杯です。助手、講師、助教授それぞれが70人からの学生の化学実験を一人で担当するなど、今の若い教職員の皆さんには想像できない程、当時の教育・研究の設備と内容は貧弱でした。現在は博士課程の在る大学院もでき、研究・教育設備

退任  
前食品栄養学科教授  
杉本 温美

と内容は大変充実したと思っております。ただ当時の農学部は近大で遅く創立された学部で、現在のようにすべてがきっちり規格化された状況では味わうことのできない一種混沌としたおろからで活気に満ちた雰囲気がありました。健康なおろからさが教育の場から失われつつあるようで心配です。現在は、92歳のボケた母親を、老夫婦二人で介護する毎日です。母親の日々の介護は、学ぶこと、教えられることが多々あり、今まで見えなかったものが見えてきたりして、しんどいけれど意義ある修養の場になっています。

退任  
緑友会の皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。さて、私は本年3月末日をもちまして、9年間お世話になりました近畿大学農学部を定年退職いたしました。退職後、今までなかなか行けなかった、美術館や博物館に足を伸ばしたり、北海道に旅行に行ったりと、平日の醍醐味を味わいながら楽しく暮らしております。平日、出かけて思うことは、私も含めて、年寄りの多いこと、日本が超高齢化社会であることを改めて感じると共に、在職中は、若い皆様に囲まれて仕事できたことに感謝しております。7月23日に日本応用糖質学会近畿支部で、私の退職記念として第13回特別セミナーがありました。「各種澱粉粒の電界放出型走電子顕微鏡による観察」というテーマで、近畿大学で行った研究の成果を講演し、最終講義を終えました。



最後に緑友会ならびに近畿大学農学部の益々のご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。

最後に緑友会ならびに近畿大学農学部の益々のご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。

最後に緑友会ならびに近畿大学農学部の益々のご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。



最後に緑友会ならびに近畿大学農学部の益々のご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。

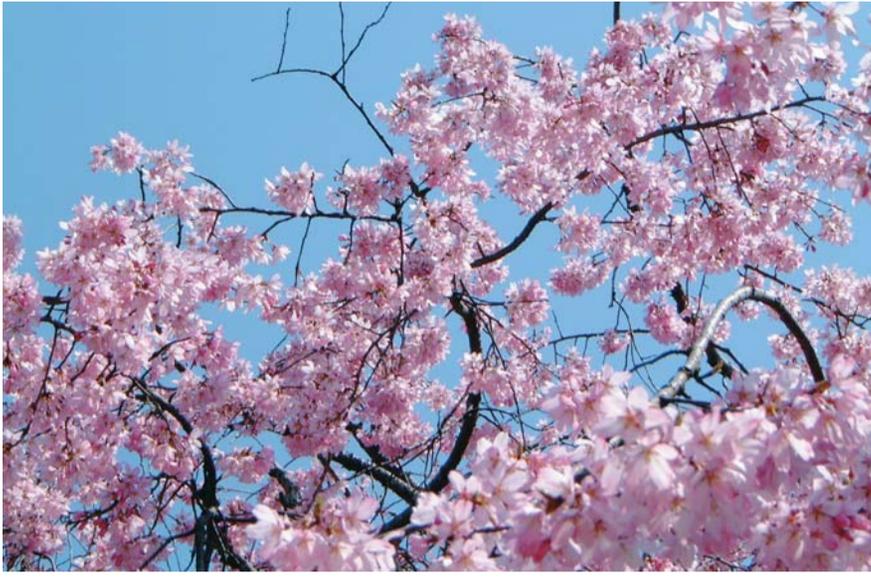
# 新 旧

# 新入生の夢

## 「私の夢」

農業生産科学科 一回生  
佐々木 あゆり

人間活動のなかで最も根本的な部分に位置する「食」を支え、同時に人間と自然が共生できるような世界を目指していくことが、必要なのではないかと考えていました。そのような漠然とした思いを熟考していくうちに、自然環境と調和した農業を構築するということが私の夢となりました。そして、そのための勉強をしたいと思うようになり、農業生産科学科への進学を決めました。入学してからは、多くの知識をご教授してくださる先生方、困ったときに手



## 私の夢

水産学科 一回生  
和田 好平

私は、高校一年生の時、学校の行事で近畿大学の大島実験場で魚の養殖を見学させてもらう機会がありました。そこで特に、今でも印象に残っているのがクロマグロの養殖の光景です。とても大きく、豪快にえさを食べる光景は、近くで見ると、とても迫力がありました。自分も将来水産研究所で養殖しているような立派な魚を養殖したいと思いました。そのためには、世界でもトップクラスの魚の養殖技術がある水産科学科で学びたいと思い入学しました。実際に入学して、毎日勉強していると養殖だけでなく魚の生態系や経済などにも興味を持つことができ、魚のことについて幅広く考えることができ有意義な学生生活を送っていると思います。将来の夢を実現するためには、ただ大学で勉強するだけでなく、人の気持ちやわかるように心も成長したいと思います。そして、大学生生活で学んだことを生かし、将来、天然資源に頼らない養殖を確立し、世界の食糧問題を解決に貢献したいと思

## 私の夢

食品栄養学科 一回生  
福山 真依子

更に人付き合いがあまり得意ではなく、会社の上下関係に苦勞しそうだと思いました。けど大学に入学した今新たなスタートを切ることができた気がします。授業で学ぶことは興味があることばかりで自分でしっかりと学習して理解することの大切さを知りました。クラブに入ってチームで作業をしていく上でのコミュニケーションの取り方を学んでいます。他にもたくさん学ぶことはこの大学生活に潜んでいるはず。だからこの毎日を大切にしながら一歩ずつ夢に近づいて叶えていきたいと思

私は家族揃って食べる食事の時間が大好きです。その日は興味があることばかりで自分でしっかりと学習して理解することの大切さを知りました。クラブに入ってチームで作業をしていく上でのコミュニケーションの取り方を学んでいます。他にもたくさん学ぶことはこの大学生活に潜んでいるはず。だからこの毎日を大切にしながら一歩ずつ夢に近づいて叶えていきたいと思

い食事をしていると体調を崩すことは想像がつきます。日々の食事で摂取したものが体が構成されていくと考えると「何を口にするか」でその後大きく変わってきます。「どうせ食べるなら体によいほうがいいに決まってる。周りの人には健康でいてほしい。」そのような点で私は栄養に興味を持ち始め食品栄養学科に入学しました。私は管理栄養士の資格を取得して多くの人に、栄養満点でおいしい食事を届けたいです。料理の力でみんなを笑顔にすることが私の夢です。

## 私の夢

環境管理学科 一回生  
中西 公子

私にはささやかな夢があります。それは毎日の生活に困らないくらい収入のある会社に就職することです。どんな会社でもいいわけではなく食品関係の会社に入れたらいいなと思っています。でも今のままでは夢が夢で終わってしまう気がしました。なぜなら私はまだ一般常識や専門的な知識とそれに伴う技術を身につけていないからです。

## My Dream

応用生命科学科 一回生  
沼田 哲弥

私がこの大学に入学した理由は、動物について深く知り、知ったことを実際に自分の目で確かめたかったからでした。幼いころから図鑑を眺めていたため、いつしか動物に関する書籍を読んでは、内容をノートにまとめるという作業をするようになりました。そこで将来動物に関する研究や保護に携わる仕事に就くことを将来の夢と考えていました。しかし、入学して大学の講義を受けているうちに他にも多くのことに興味を持つようになり、自分から行動を起こすようになりました。今まで動物のことがばかり勉強していたため、他の分野の新たな知識を蓄えることが新鮮に感じられたからです。農業の現状を学んだ時には、実際に知り合いの農家に手伝いに行き収穫の喜びを知り、英会話



緑友会主催 近畿大学食品栄養学科 新入生歓迎会 平成23年4月17日 於 薬師寺

「夢は何ですか」と聞かれて、「一言で」になることで「す」と答えられるほど、きっぱりと自分の中で決まってい

「夢は何ですか」と聞かれて、「一言で」になることで「す」と答えられるほど、きっぱりと自分の中で決まってい

「夢は何ですか」と聞かれて、「一言で」になることで「す」と答えられるほど、きっぱりと自分の中で決まってい

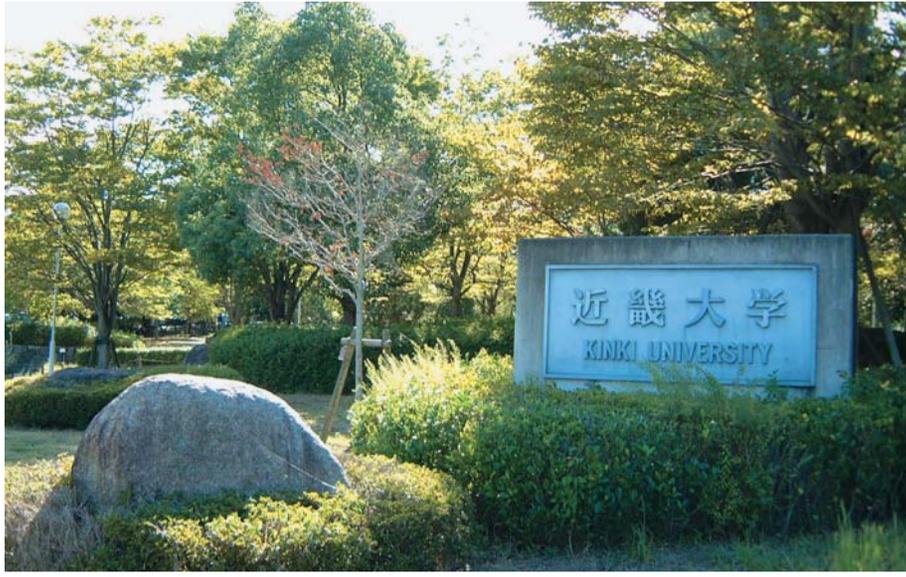
## 「私の夢」

バイオサイエンス学科 一回生  
原田 直晃

私がこの大学に入学した理由は、動物について深く知り、知ったことを実際に自分の目で確かめたかったからでした。幼いころから図鑑を眺めていたため、いつしか動物に関する書籍を読んでは、内容をノートにまとめるという作業をするようになりました。そこで将来動物に関する研究や保護に携わる仕事に就くことを将来の夢と考えていました。しかし、入学して大学の講義を受けているうちに他にも多くのことに興味を持つようになり、自分から行動を起こすようになりました。今まで動物のことがばかり勉強していたため、他の分野の新たな知識を蓄えることが新鮮に感じられたからです。農業の現状を学んだ時には、実際に知り合いの農家に手伝いに行き収穫の喜びを知り、英会話

の楽しさを知ってからは、英語帳を常備するようになりました。すると、学んだことをすぐに実行し、考えることが楽しく感じられ、新しい自分をどんどん見つけられるようになりました。最近では動物園のボランティア活動に参加したり、サークル活動や塾講師をしたりと多くの人とふれあっているうちに、私は人と話すことが好きで、人見知りしないことが長所であることに気が付きました。大学に入ってから少し考えを変え、新しいことにチャレンジしていくうちに視野を広げることができました。今の夢は、趣味と特技を活かして動物と人との橋渡しになれる仕事に就きたいと思うようになりました。しかし、まだまだ私が知らないこともたくさんあると思うので、今の夢を大切にしつつ、自分の新たな可能性を探してチャレンジし続けたいです。





学窓から見える風景を眺め

虫と共に歩む仕事  
農業生産科学科 平成14年度卒  
横井 智之



ながら、この原稿を書いていきます。学生時代は、自転車で春夏に合宿に出かけ、遊びまわっていました。思い返せば4回生になって昆虫学研究室（現・昆虫生態制御学）に所属し、右も左もわからないままに研究を始めました。ここで初めて、「自然を観察し、分からないことを明らかにしていく」面白さを覚えて、さらに京大の大学院に進学し博士号を取ることが出来ました。大学院ではもっぱらフィールドに出て、訪花昆虫の行動を観察

していましたが、岡山大学では特任助教として、今度はシロアリを相手に駆除剤の開発プロジェクトに携わっています。肩書きは先生なのですが、研究室の学生さんとは、気軽に話をしたりパーベキューをしたりと、和気あいあいとした雰囲気です。産官学の連携により推し進められ、3年間で結果を出さなければいけない難しい仕事であり、生物相手ではなかなか一筋縄ではいかないところが多いのですが、とてもやりがいがあり、これからも全力で取り組んでいきたいと思っています。

マグロ養殖に携わっています  
水産学科 平成22年度卒  
永井 孝朗

平成22年に水産学科を卒業しました永井孝朗です。私は4年次に水産研究所大島実験場でマグロ関係の卒業研究を行いました。現在、私は(株)極洋の鯉・鮪事業部に所属し、名の通り、カツオとマグロを扱っています。カツオは自社の海外巻網船にて原料調達し、加工、販売と一貫した事業を行っており、マグロは国内外の養殖、買付け、加工、販売をしています。その中で私は販売をメインに営業活動しており、100円寿司や大型量販店、ローカルスーパー、市場、問屋等を通して、全国にマグロ類を販売しています。販売する物は、生鮮、冷凍の魚丸一本からネギトロやサク、本鮪にキハダ、メバチ、インド鮪等、様々な原料・製品です。近年、マグロの国内養殖は注目を増し、弊社の養殖事業部も大変注力しています。世界的にマグロ類の資源量が不足し、輸入物も減る一方、近い将来、国内養殖が更に重要になると考えられます。国内



内養殖のマグロといっても、餌、場所、飼育しているスタッフ等様々な要因で出来上がってくる魚が違い、取引先から弊社のマグロでなく、「近大のマグロを売ってほしい」と言われる事もあり、自分の立場が難しくなる事もあります。本学大島実験場で1年間勉強させて頂いた事で、生産サイドの考えと、現在の販売サイドの考えの両方を経験させてもらうことができ、営業活動にも奮起しております。販売上のライバル？ではありますが、卒業生として今後も近畿大学のマグロ養殖が発展していく事を切に願っています。

名古屋を皮切りに、金沢、札幌、京都、厚木、千葉、静岡と26年間で6回の転勤、7カ所の勤務地を経験し、出身地の大阪を入れると今現在8カ所目の居住場所になります。3度目の赴任地札幌で妻と「すすき」で知り合い結婚し千葉まで家族帯同でしたが、静岡に転勤の際妻は札幌へ戻り、現在は単身暮らしをしています。

（社内ではもっと転勤の多い人はいませんが、こんなに広範囲はたぶんないと思います）

入社当時まさかこんなに転勤を経験するとは思っていませんでした。いざ振り返ってみると各地に知り合いができて、社内でも有名人（私を知っている人が多いという意味）になり、営業という仕事柄人と人の繋がりが一番重要視される為、商売する上で大いに役立っています。また転勤する事で自分をリセットして見つめ直す事ができ、

ある意味竹の節にあたるのではと思います。今後何度の転勤を経験するか分かりませんが、自分を成長させ、新たな知り合いを生んでくれる転勤を、喜んで受け入れたいと思います。まだ大学を卒業して間もない方、会社から転勤を言われた時は未来に羽ばたくチャンスが来たと考え、大いに喜びましょう。

私は管理栄養士専攻を卒業後、修士課程へ進学し現在はフリーズドライの食品メーカー（日本ジフィー食品株式会社）大阪府中央区久太郎町2-4-31クラボウ本社ビル4F）で商品開発の仕事に携わっています。フリーズドライ食品とは真空凍結乾燥法を利用した乾燥食品のことで、即席麺の具材やスープ、製菓材料など幅広い食品に利用されています。私は市場調査や顧客の聞き取り調査からニーズと流行を捉え、商品を開発・提案する仕事をしています。仕事は分からない事が多く戸惑ってばかりですが、大学時代に培った問題解決能力と管理栄養士としての知識を武器に、周りと横並びでいるのではなく自ら考え行動することを大切に仕事に取り組んでいます。食品業界では管理栄養士の認知度はまだ低いのが現状ですが、食の安心・安全や健康志向が強まるこれからは管理栄養士の知識や技術が必要とされるようになっていくと感じています。これからの自分の能力をさらに高めながら食を通して人々の役に立てよう頑張っていこうと思います。

「製造の仕事」  
バイオサイエンス学科 平成22年度卒  
黒松 春菜

私は、学生時代、大学の先生などの話を聞くうちに国家公務員になりたいと考え、公務員試験を受けました。受験の結果、国家公務員Ⅰ種、Ⅱ種試験の両方に合格しました。官庁訪問（採用面接）で、残念ながらⅠ種では不採用となりましたが、Ⅱ種として農林水産省水産庁に採用され、今年で6年目を迎えています。現在は、水産資源の資源管理に関する仕事を担当しています。近年、国内においても国際社会においても水産物の資源について高い関心が集まっています。昨年には、ドーハで開催されたワシントン条約締約国会議（CITES）において、大西洋クロマグロの国際取引禁止についての提案がなされ、国内でも大きく報道されました。この提案は否決され、ホッとしたところですが、今後はクロマグロに限らず、他の魚種についても資源管理の強化が求められることが予想されます。このような情勢の中、日本は世界有数の水産国として、資源管理を率先して積極的に行っていく必要があります。水産資源は、鉱物や石油資源と違い、適切に管理をすれば、将来にわたり持続的に利用することが出来る資源です。

私は農学部バイオサイエンス学科植物分子生理学研究室を卒業し、森永乳業株式会社に入社しました。弊社は牛乳、ヨーグルト、アイス等様々な製品があり、皆さんも弊社の製品をスーパーやコンビニエンスストアで手にして頂いたことがあるかと思います。私は現在、兵庫県にある神戸工場に配属され、マウントレイニアというコーヒードリンクの製造に携わっています。神戸工場は森永乳業最新の工場です。まだまだ発展途上。社員も20・30代が中心で若い力が溢れています。私の主な仕事は充填に関するオペレーター業務です。一日に約三万本もの製品を製造しており、機械の動作点検や風味の検査など品質確保はもちろん、トラブルが生じた時は様々な工具を使い、機械のメンテナンスを行います。また、日々のライン稼働率を数値として算出しており、自分の仕事の成果が具体的に表れるので、とてもやりがいを感じています。そして自分の担当の機械を持ち、その機械がスムーズに動くよう日々の点検や部品の発注なども大切な仕事です（私も賞味期限を印刷する機械の担当になりました！）。

食品の製造という未知の世界に飛び込み、初めは工具の使い方が分からず、まだまだ人前ですが、先輩の背中を追いかけて日々成長の毎日を感じています。

「製造の仕事」  
バイオサイエンス学科 平成22年度卒  
黒松 春菜

故・布施先生の紹介で昭和60年4月に日本ハードボード工業株式会社（現ニチハ株式会社）に就職。最初の赴任地

転勤  
農芸化学科（昭和59年度卒）  
杉浦 英一

入社当時まさかこんなに転勤を経験するとは思っていませんでした。いざ振り返ってみると各地に知り合いができて、社内でも有名人（私を知っている人が多いという意味）になり、営業という仕事柄人と人の繋がりが一番重要視される為、商売する上で大いに役立っています。また転勤する事で自分をリセットして見つめ直す事ができ、

ある意味竹の節にあたるのではと思います。今後何度の転勤を経験するか分かりませんが、自分を成長させ、新たな知り合いを生んでくれる転勤を、喜んで受け入れたいと思います。まだ大学を卒業して間もない方、会社から転勤を言われた時は未来に羽ばたくチャンスが来たと考え、大いに喜びましょう。

私は、学生時代、大学の先生などの話を聞くうちに国家公務員になりたいと考え、公務員試験を受けました。受験の結果、国家公務員Ⅰ種、Ⅱ種試験の両方に合格しました。官庁訪問（採用面接）で、残念ながらⅠ種では不採用となりましたが、Ⅱ種として農林水産省水産庁に採用され、今年で6年目を迎えています。現在は、水産資源の資源管理に関する仕事を担当しています。近年、国内においても国際社会においても水産物の資源について高い関心が集まっています。昨年には、ドーハで開催されたワシントン条約締約国会議（CITES）において、大西洋クロマグロの国際取引禁止についての提案がなされ、国内でも大きく報道されました。この提案は否決され、ホッとしたところですが、今後はクロマグロに限らず、他の魚種についても資源管理の強化が求められることが予想されます。このような情勢の中、日本は世界有数の水産国として、資源管理を率先して積極的に行っていく必要があります。水産資源は、鉱物や石油資源と違い、適切に管理をすれば、将来にわたり持続的に利用することが出来る資源です。

私は農学部バイオサイエンス学科植物分子生理学研究室を卒業し、森永乳業株式会社に入社しました。弊社は牛乳、ヨーグルト、アイス等様々な製品があり、皆さんも弊社の製品をスーパーやコンビニエンスストアで手にして頂いたことがあるかと思います。私は現在、兵庫県にある神戸工場に配属され、マウントレイニアというコーヒードリンクの製造に携わっています。神戸工場は森永乳業最新の工場です。まだまだ発展途上。社員も20・30代が中心で若い力が溢れています。私の主な仕事は充填に関するオペレーター業務です。一日に約三万本もの製品を製造しており、機械の動作点検や風味の検査など品質確保はもちろん、トラブルが生じた時は様々な工具を使い、機械のメンテナンスを行います。また、日々のライン稼働率を数値として算出しており、自分の仕事の成果が具体的に表れるので、とてもやりがいを感じています。そして自分の担当の機械を持ち、その機械がスムーズに動くよう日々の点検や部品の発注なども大切な仕事です（私も賞味期限を印刷する機械の担当になりました！）。

食品の製造という未知の世界に飛び込み、初めは工具の使い方が分からず、まだまだ人前ですが、先輩の背中を追いかけて日々成長の毎日を感じています。



# 在学生だより

### 何故君はここに居るのか？

農業生産学科  
植物・人間関係学研究室 四回生  
前田 啓介

この題は教授がよくおっしゃる言葉です。

大学に入学してから早いもので、もう三回生です。小・中・高校の3〜6年もあつたという間でしたが、大学生活が取り立ててゆつくり流れるわけもなく、就職・院とそれぞれの進路について考えなければならぬ岐路が近づいてきました。私は今香りについて

でもその分野に近いもの、と思ひ今の研究室に所属しています。ふと普段の忙しさに追われ、その場でいっばい

### 「YES. I CAN」

水産学科  
漁業生産システム研究室 四回生  
伊藤 静香

学生生活も残す所半年となり、4年間の総まとめの時期に入りました。私にとって仲間と共に遊び学んだ日々は、楽しく充実し、自身の成長においての大きな糧となっています。

私は、これまでの学びの中で、魚類行動の分野に興味を持ちました。なぜ魚はあんな形をしているのか、なぜあんな

### 色々な縁

応用生命化学科  
応用微生物学研究室 四回生  
松浦 寛

僕が入学して早くも3年半の月日が過ぎました。

思い返せば、近畿大学農学部に入學した理由は、生物学に興味があった事と農学部という響きが良かった、というぐらいの適当なものでした。しかし、今ではこの大学を選んで本当に良かったと思えます。

そう思うきっかけを与えてくれたのは、農学部で様々な方々と交流を持った事です。まず、初めの頃に友達が出来てからは、みんなで遊んだりする以外にも授業で分からない所を教えあったり、意見を交換して様々な考え方に触れたり出来ることの幅が広がりました。そして、4回生



になり研究室で主な時間を過ごすようになってからは、先輩や先輩方に様々なことを教えて頂くことも多く、色々な生の知識を得ることが出来るので、とても充実しています。

このように、ここで出会えた様々な人達のおかげで、日々を面白くおかしく、且つ充実して過ごすことができていますので、この大学に入ってからよかったですと思います。

### 自分の軸を持つ大学生生活

食品栄養学科  
生体機能学研究室 四回生  
大澤 萌香

大学が「学生」として学業に専念出来る最後の場所であると思ひ、学業だけは疎かにしたくないという気持ちで、私の大学生活は始まりました。その一方で部活、バイト、海外留学などの経験が出来るの

も大学のうちが最後かもしれないと思つと、学業だけに打ち込むのはもったいない気もしました。ですが、食の専門職ともいえる管理栄養士を目指すからには、学ぶことを軸にしようと思ひ、大学1回生はサークルもバイトもしませんでした。

その結果、学業に良い循環が出来、自分に少し余裕が持てた2回生の秋にはヘルスチーム優良という新しいサークルを立ち上げる機会もあり、サークル活動も経験することが出来ました。

4年間という長いようで短い大学生活を有意義に過ごすには、何か一つでもはっきりとした目標を決めて行動することが大事だと改めて感じました。社会に出れば、迷うこともさらに増えると思うので、自分の意志を強く持つて進んで行きたいと思ひます。

### 「新しいスタート」

環境管理学科  
水圏生態学研究室 四回生  
小田 優花

ついに私も三回生になり、大学生活の半分が過ぎてしまいました。大学に入學してからは多くのことを経験し、色々な人と出会い、今までにない充実した毎日を送っています。大学生になって初めて学んだこと、経験したこと、今は教えきれないほどです。

三回生になって、私は水圏生態学研究室に所属されることになりました。一回生の頃からこの研究室で学んでいきたいと思つていたため、決断したときは本当に嬉しかったです。各研究室に分かれ、専門分野に集中した授業を受けることが多くなったので、一回生や二回生とは違う新しい日々を過ごすことになりました。

### これからの自分

バイオサイエンス学科  
生命情報研究室 四回生  
松浦 喜徳

近畿大学に入學して私は様々な価値観と出会うことができました。そもそも私がこの大学の農学部という学部に入學しようと思ったのは、実学に重きを置いた教育方針という言葉から、実験に割かれる時間が多いと考えたためです。私は昔から実験というものが好きで、実験のある日はいつも心躍ったものです。

また、この大学に入學してから多くの人と出会うことができました。これまでも様々な思想・価値観を持った人たちとの出会いがありましたが、この大学で出会った人々は、私に今までの人生で最も多くの刺激を与えてくれました。これと決めたら即行動に移す、卓越した行動力を持つ人。純粋な学問として知識から雑学まで、多種多様な知識を持つ人。優れたリーダーシップを発揮し、多くの人を惹きつける人。普通は思いつかないようなユニークなアイデアを出し、周囲を湧かせる人など……これらの出会いは私の思想・価値観に多大な影響を与えてくれました。また彼らという存在と友好的な関係を築けたことを心から感謝しています。

毎日新しい発見と経験です。これからどんどん先生や先輩達から教わりながら、自分でもあるテーマを見つけて研究をしていかなければなりません。私は三回生になったここからがまた新しいスタートだと思ひます。きっとこんな経験は今しかできません。一日一日を無駄にせずに、自分の選んだ道を進んでいきたいと思ひます。

現在、就職難と言われるご時世ですが、これらの経験を糧に自身の力を発揮できる企業へと就職し、今後とも己に恥じない人生を歩んでいきたいと思ひます。

あなたの企業のお手伝い  
photo shop **イナダカメラ**

21世紀へ  
ニューメディア  
プリント

服部川店 八尾市服部川7丁目56  
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934  
携帯 09037290909

今里店 大阪市東成区大今里4丁目21-18  
TEL / FAX 06 (6974) 0919

代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

水族館へ  
行こう!

**城崎マリンワールド**  
Small discoveries in the big ocean.

**近大アーマリン**

近畿大学水産研究所の技が可能にした幻の味!!

~アーマリン近大の『本くえ鍋セット』~

“最高級魚『くえ』をお手軽に食卓へ”  
期間限定にて好評発売中!!

〒649-2211  
和歌山県西牟婁郡白浜町1番地の5  
TEL:0739-42-4116  
FAX:0739-42-2600  
Mail:shopping@a-marine.co.jp  
URL:http://www.a-marine.co.jp

※商品のパッケージ等の仕様は予告なく変更することがございます。

# 大学院生 だより

## 将来を見据えての努力

農業生産科学専攻博士前期課程  
植物・人間関係学研究室  
北尾 麻希子

私が所属する農業生産科学専攻の植物・人間関係学研究室は、平成二十一年度開設されました。本研究室は、植物が持つ優れた特性を人間の健康や暮らしに役立てることを目標として、植物工場アロマ、園芸療法という三つの主なテーマを軸に研究を進めています。

本研究室には、一生懸命に努力する学生を後押ししてくれる環境があります。私は四年生の時に共同研究先で植物工場についてプレゼンするという貴重な経験をさせていただきました。修士課程に進んだからは、カモミールの香りについて研究しています。本研究に関して論文を書いたり海外での学会発表も予定しています。このように、私は日々上を目指して頑張り続けることができています。

私は将来、香りに携わる仕事がしたいと思っています。漠然とした夢のように思えるかもしれませんが、目標は今後の経験によって変わっていくと思います。人との関わりや好奇心を大切に、これからの道を選択していきたいです。そのために、私は学ぶことのおもしろさを忘れずに持ち続けていこうと思います。

## 自分の選んだ道

農学研究科博士前期課程  
水族環境学研究室  
濱中 貴士

干潟は極めて多様な生物が生息しており、高い水質浄化能を有しています。近年、沿

岸域での埋立地の拡大などによって、天然の干潟は減少しており、干潟の生態系サービス機能が改めて注目されています。

水族環境学研究室に入った当初、私は養殖場の細菌群集についての研究を行っていました。研究を進めていく中で、私は干潟の細菌群集が養殖場から排出される有機物の分解に大きく関与していると考え、養殖場に隣接している干潟に注目しました。今春、私は大学院に進学し、現在は4年生と一緒に干潟の研究を行っています。干潟での研究は今年から本格的に行っているのですが、サンプルの採取方法などは試行錯誤の連続です。実験の手

法で悩んだり、また大学院生ということで後輩への実験の指導、学生実験の補助など4年生の時と比べると、やるべきことが多く、大変な時もありますが、充実した日々を送っています。研究以外でも、研究室のメンバーと仲が良く、一緒にご飯を食べに行くことも多いです。

1年前に進路を決定する際には、他大学の大学院への研究室訪問もしました。しかし、現在の研究室の方が自分に合っており、また自分自身が成長できると感じたため、今の研究室に残ることを決意しました。大学院を修了する時に、この選択が間違っていないかと胸を張って言えるように頑張っていきたいと考えています。

## 「得たものの大きさ」

応用生命化学専攻博士前期課程  
応用細胞生物学研究室  
前川 慎太郎

近畿大学で得た大切なものがいくつもあります。その中で、何よりもまず思い浮かぶものは仲間です。仲間との出会いが私に大きな影響を与えてくれました。いつも、仲間

がいたから頑張れました。楽しめました。どんなに苦しくても、楽しくなければ意味がありません。楽しみながらやるからこそ、つらいことにも全力で取り組みました。そして、最後に「笑えれば」良いのです。同じ志を持った仲間と流した汗、仲間の涙、熱い思いをぶつけ合い酌み交わした夜。かけがえのない仲間との思い出は、私のこれからの人生において必ず心の支えとなります。

また、良き師とも出会えました。先を見据えた計画や事前の準備、基礎や原理の理解、他人に理解してもらおうための科学的な言葉遣い、新しいことに挑戦する姿勢。研究を通じてこれらの重要性を学びました。

私も春から社会人です。近畿大学で得たものに自信と誇りを持ち、世の中に、一人でも多くの人たちに笑顔届けたいと思います。私を導いてくれた師、全ての仲間に感謝します。そして、修士課程を含め6年間も近畿大学に通わせてくれた両親や周囲の方への感謝も忘れることなく、これからの日々を過ごしていきます。ありがとうございます。

私は今年4月から大学院へ進学しました。大学四年間は管理栄養士資格取得の勉強が中心であり、大学院への進学など考えたこともありませんでした。しかし卒業研究で研究室に所属した時、私の考えは大きく変わりました。知識の詰め込みとは異なり、新しい事への挑戦や深く考えることなど、研究のおもしろさにも遭遇し、より深めていきたい

## 「追求」の先に在る充実

応用生命化学専攻博士前期課程  
栄養機能学研究室  
金井 康貴

環境管理科学専攻博士前期課程  
水圏生態学研究室  
小西 雅樹

私は物心ついた時から魚が好きで、暇さえあれば釣りや魚採りに行っていました。そのため、大学も魚の研究をするために近畿大学農学部環境管理学科を選びました。水産学科を選ばなかった理由は魚類の保全や生態、分類学に興味があったためです。入学時からすでに院進学を考えていたため、3年生、4年生になり、周りが就職活動を開始した際にも、就職活動は一切取り組まず、研究や大学院試験に向けた準備をしていました。学部の卒業論文のタイトルは「カラフトシシヤモとシシヤモの簡易識別法」です。修士論文のタイトルは「アユの系統分類学的研究」で、卒論のカラフトシシヤモとシシヤモの2種間比較から、キユウリウオ科魚類全般へと比較対象を挙げました。また、サブで外来魚、駆除活動もしています。3年生時から近畿大学バスバスターズという任意団体の隊長を務めており、オオクチバスの駆除を中心に活動していました。

と思うようになり大学院進学を選びました。現在、卒業研究で行った「運動が糖代謝異常に及ぼす影響」をさらに深めて行っています。大学院での生活が始まり約半年が経ちましたが研究以外にも、四回生やTAでの指導や学会などでの新しい出会いなどこれまでにない充実感を味わっています。大学院に進学してよかったと卒業する時に言えるようにこれからも日々精進していきたいです。

植物分子生理学研究室に所属してから、すでに2年半が経過しました。研究室に所属された当初は、右も左も分からず不安でいっぱいでしたが、先輩から最先端の研究がこの研究室で行われていることを教えて頂き、気持ちが高揚したのを覚えています。今では、研究室での生活が始まる前では想像もつかないほど忙しくも充実した毎日を過ごしていますが、日々確実に成長していることを実感しています。一つの事を追求していく研究の面白さや奥深さ、人前で話す経験、物事を論理的に組み立てていく力、研究室で出会った人々と共に過ごした時間、数えきれないほど多くのことを学び経験し、一つ一つが私の糧となり力となっています。

現在、私は日本の主要作物であるイネやサツマイモへ有用な遺伝子を導入し、高成長・高収量作物の作出を目指しています。この研究は、近年の地球環境の急激な変化や爆発的な人口増加により、近い将来必ず起こるであろう食糧不足やエネルギー不足の解決策の一つとして期待されています。私がこの研究室の大学院に進学した理由の一つは、「遺伝子組換え植物を作出したい」という中学の時から

の夢を叶えることのできるこの研究に出会えたからです。夢を叶えるために何事にも真面目に一直線に突き進んできた結果、この研究を行なうことが出来ました。研究室でのまだまだ充実した実りある生活

## 研究室で得られたこと

バイオサイエンス専攻博士前期課程  
植物分子生理学研究室  
西山 和樹

植物分子生理学研究室に所属してから、すでに2年半が経過しました。研究室に所属された当初は、右も左も分からず不安でいっぱいでしたが、先輩から最先端の研究がこの研究室で行われていることを教えて頂き、気持ちが高揚したのを覚えています。今では、研究室での生活が始まる前では想像もつかないほど忙しくも充実した毎日を過ごしていますが、日々確実に成長していることを実感しています。一つの事を追求していく研究の面白さや奥深さ、人前で話す経験、物事を論理的に組み立てていく力、研究室で出会った人々と共に過ごした時間、数えきれないほど多くのことを学び経験し、一つ一つが私の糧となり力となっています。

現在、私は日本の主要作物であるイネやサツマイモへ有用な遺伝子を導入し、高成長・高収量作物の作出を目指しています。この研究は、近年の地球環境の急激な変化や爆発的な人口増加により、近い将来必ず起こるであろう食糧不足やエネルギー不足の解決策の一つとして期待されています。私がこの研究室の大学院に進学した理由の一つは、「遺伝子組換え植物を作出したい」という中学の時から



## 在外研究報告

農業生産科学科 園芸植物学研究室  
神崎 真哉

グレートバリアリーフ観光の拠点として多くの旅行者が訪れるオーストラリア・ケアンズ。そこから車で1時間ほど内陸の高原へ上ったところ、マリバという人口三千

を続けたいですが、あと半年で終わってしまいます。この研究が将来人々のために役立つことに期待し、残りの時間で少しでも多くの結果を出せるよう頑張りたいと思います。

人ほどの小さな町があります。コーヒータウンがあって、ワラビーに餌づけできる公園があつて、気球が飛ぶ、その他には何も無いように見える田舎町ですが、この町にはクイーンズランド州立熱帯農業センターの支場があり、世界に類をみないほど豊富なマンゴリーの遺伝資源が広大な圃場で維持されています。私は、近畿大学の在外研究制度により2010年9月から半年間、このセンターのお世話になりマンゴリー果皮色の遺伝子について研究してきました。海外に長期滞在し研究に没頭することができた半年間は、私にとつて貴重で有意義な時間でした。このような機会を与えてくださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は2010年4月から半年の予定で、アメリカアリゾナ州ツーソンにあるアリゾナ大学進化生態生物学部のDaniel Paegle研究室で在外研究を行ってきました。研究では主にチョウの産卵学習と訪花学習の干渉作用を行動的に調べたり、ある種のチョウの幼虫にある頭部肉状突起の役目について生態的に調べていました。短い期間ではありましたが、現地では味わえない生活、気候風土やアメリカ人の気質に触れる事ができ、かけがえのない思い出ができました。このような貴重な体験の機会を提供していただいた近畿大学ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



おいしい品質  
**Q・B・B**  
Quality's Best & Beautiful



六甲バター株式会社  
http://www.qbb.co.jp/

## アリゾナ研究紀行

農業生産科学科 昆虫生態学研究室  
香取 郁夫

私は2010年4月から半年の予定で、アメリカアリゾナ州ツーソンにあるアリゾナ大学進化生態生物学部のDaniel Paegle研究室で在外研究を行ってきました。研究では主にチョウの産卵学習と訪花学習の干渉作用を行動的に調べたり、ある種のチョウの幼虫にある頭部肉状突起の役目について生態的に調べていました。短い期間ではありましたが、現地では味わえない生活、気候風土やアメリカ人の気質に触れる事ができ、かけがえのない思い出ができました。このような貴重な体験の機会を提供していただいた近畿大学ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第7回農学部緑友会総会

第7回農学部緑友会総会は、平成23年11月3日(木)祝日12時から農学部211号教室で開催された。開会に先立ち、平成23年9月29日にご逝去された理事長世耕弘昭先生に謹んで哀悼の意を表し、参加者全員で黙とうを捧げた。まず始めに緑友会村上哲男会長から、以下の挨拶があった。

校友会長、学部長、各学科学長出席に対するお礼があり、今回の緑友会総会開催に当たって、学部祭に合わせて開催することによって、多くの方々に参加して頂いている。今回は200名を超える参加者に対してお礼がなされた。平成23年度の校友会総会において、副理事長の世耕弘成先生が新理事長になられた。その際のご挨拶で、1. 18歳人口が減少している中で、近畿大学の受験生が10万人を超えた。2. 卒業生が45万人を超えた。2人の国会議員を出すぐらいの力に当たる。などの紹介があった。

農学部は、4年生時は少数で研究室に配属されるため、教員と密に接することができる。このことが愛校心につながっている。卒業生の動向の把握もよくできており、学部と卒業生のパイプがしっかりと

している。現時点でも70%以上の卒業生の住所を把握できている。5年前に前会長(藤田先生)から引き継ぎ、パイプを太くするために3つのことに力を入れてきた。

1. 終身会費の納入率のUPを目指す。会の存続のためにも、納入率を高く維持する必要がある。86%の納入率を維持したい。3年経過して、納入率が低下傾向にある。研究室によって納入率に差がある。今後も学科の教員の協力を依頼していきたい。

2. 入学生、在学生に対して、同窓会の意義を理解してもらうため、その説明、新入生歓迎会など、学科ごとに努力している。また、卒業生を利用して、早い時期に卒業生から社会での苦労話を聞かせている。応用生命科学科、食品栄養学科では卒業生に、3年生を対象に話をしてもらっている。在学生に、社会の厳しさを早く察知させる為の啓蒙活動である。

3. 広報活動。大学と卒業生への情報の発信であるが、そのために緑友会報に力を入れる。卒業して長い年月が経った方には評価して頂いている。今年も第15号を編集中心であり、12月には卒業生の皆様にお送りできる予定である。HPも立ち上げていく。従来より、同窓会から学生に対して賞を与えてはどうかという意見があり、大学院生(60)70名の発表会で、ベス

トブレゼンテーション賞を授与することを決めた。昨年度より実施(日23.3に授与)各専攻の先生方に審査して頂き、専攻ごとに2-3名に賞状と金一封を卒業式時に授与している。



村上会長

高谷新会長



東大阪の経験のない新しい教員も多くなり、キャンパス内の雰囲気も変わった。学科改組、研究室の統廃合を行い、中には卒業した研究室がなくなっている方もおられる。それも、農学部の受験生確保という大きな宿題に向かっていることであり、ご理解をいただきたい。受験生の確保はできているが、今後の少子化の中に置かれていることから、今後ますます厳しくなる。今後とも皆様のご理解とご支援をいただきたい。

平成17年度に学科改組、6年間が経過した。大学の改革に対して、卒業生は支援者として今後ますます重要になり、同窓会活動はますます活発にする必要がある。卒業生の協力と、愛校心を高くする必要があり、そのためには教員の協力も必要であり、今後とも、よりいっそうのご支援とご鞭撻をお願いしたい。

農学部創立50周年、奈良に移って20数年がたち、食堂、新教室棟、第2共同利用棟などができた。

この総会は会則第7章22条により当日の出席者(出席者数121名)をもって成立した。また会則第7章21条により会長(村上)が議長を務める。議題に入り、

第1号議案事業報告(平成20年度、22年度)谷哲庶務幹事(平成18バオサイエンス卒)より配布資料およびパワーポイントを参考に説明が行われ、満場一致で承認された。

第2号議案決算報告(平成20年度、22年度)野々村照男庶務幹事(平成3農学研究科卒)より配布資料およびパワーポイントを参考に説明が行われ、満場一致で承認された。

Table with 4 columns: 月日, 項目, 場所, 内容. Contains meeting agenda for 2022 fiscal year.

第3号議案会計監査報告を武田徹監事(昭和63食品栄養学科卒)より適切に処理されているとの報告があり承認された。

第4号議案役員改選が村上会長から報告があり新役員に会長高谷政広(昭和45農芸化学科卒)副会長森本正則(平成4農学研究科卒)、副会長森川敬介(昭和53農芸化学科卒)の方々が推薦され満場一致で承認された。

第5号議案新役員を代表し、会長高谷政広が歴任の会長に負けないように、100周年を目指して、がんばるので協力をお願いする旨の挨拶があった。

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Contains financial summary for 2022 fiscal year.

平成23年11月3日、第2回KINKANKANイベント「管理栄養士養成課程卒業生のその後」が開催されました。KINKANKANとは、2007年に発足した近畿大学農学部食品栄養学科(旧管理栄養士専攻)の卒業生の会のことです。

「同窓生の繋がりを強める」という主旨のもと、2回目のイベント開催となった今回は、渡辺克美先生、成川輝明先生によるご挨拶、各職域(病院、老人福祉、企業、行政、学校)卒業生5名による活動報告、村上哲男先生による講演が行われました。卒業生、在校生、教員など総勢91名の参加者は、それぞれにメモを取りながら、熱心に聞き入っていました。

訃報 近畿大学名誉教授 河野又四先生がご逝去されました。平成二十三年九月、御冥福をお祈りします。



力習得の重要性を再確認致しました。今後もKINKANKANでは、様々な活動を通じて同窓生の連携を深めつつ、ひいては個々及び会全体のレベルアップに繋がるよう取り組んでいきたいと思っております。